

管内が抱える担い手の課題とこれから

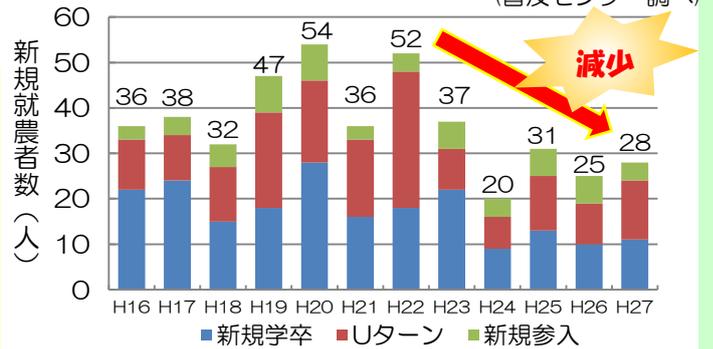
～平成 27 年度 女性新規就農者交流会より～

(普及センター調べ)

新規就農者の現状

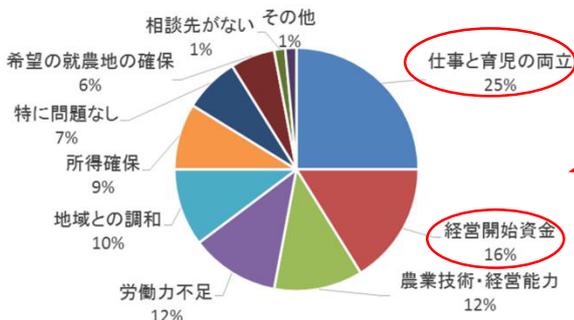
根室管内の新規就農者は、ここ数年、減少傾向にあり、将来の地域農業を支える担い手の育成・確保は重要な課題となっています。

地域農業を永続的に守り続けるためには、男性と共に女性の就農が不可欠です。女性新規就農者の交流会から、就農に向けての問題点や課題を探り、今後の対応を考えます。



女性新規参入者アンケート結果から

農業経営開始前の不安や問題点は？



経営の安定を達成した時期はいつ？



問題点

根室振興局が、平成 16 年以降に新規就農した女性農業者 67 名にアンケートを取りました。経営開始に当たって「仕事と育児の両立」、「経営開始資金」などに不安が多く見られました。また、回答者の半数に 9 歳以下の子どもがおり、10 年以上経過して 4 割に経営が安定していない状況が見られ、「労働力確保」、「仕事と育児の両立」が課題と言えます。

交流会で出された意見

- 過疎化で学校や保育所が統合。子どもの世話や送迎に時間が取られ仕事ができない。
- 女性は雌牛の変化について感覚が鋭いと思う。もっと女性の力が発揮できればと思う。
- 基礎を習得できる研修の場があり満足しているが、子育てが忙しく集中できない。
- 経営と子育てのバランス、地域との関わりが上手く出来れば、酪農は素晴らしい職業。

これからの担い手育成 ～若い世代から夫婦で経営参画できる環境を～

新規就農者の定着には経営の早期安定が重要であり、夫婦が力を合わせて能力が発揮出来る環境づくりが必要です。子育て、技術習得、地域コミュニティなど、自治体が取組み体制づくりと地域の人が担い手を育てる体制づくりを合わせた総合的なサポートが望まれます。

事例 情報収集 北根室地区農業改良協議会(中標津町、標津町、羅臼町の関係機関で構成)では、平成 28 年に『先進的な子育て支援』として保育ママ事業に取り組む足寄町こどもセンターを視察しています。地域に合った子育て支援のあり方を模索するため、現在も継続して情報交換を行っており、今年度も認定こども園等の視察を予定しております。

事例 学習支援 根室農業改良普及センターでは、別海町、根室市の女性農業者を対象に、酪農の基礎を学ぶ「プラス*ワン講座」を毎年実施しています。地域ボランティアの協力を得て託児を設けており、参加者から「託児があるから参加した」「習った事を実践したい」など経営参画に繋がっています。

